

お医者さんに聞く

健康の すすめ



足のむくみ、これって病気のサイン!?

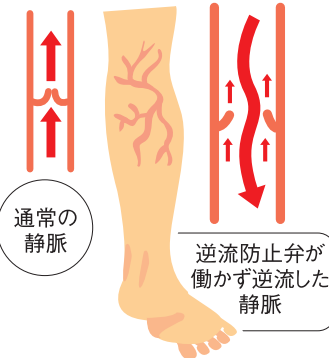
足のむくみ、疲労感、だるさ、重さなどの症状は、一時的なものと軽視されがちですが、様々な病気が隠れている場合があります。またコブ状のものが見られる「か し じょうみやくりゅう下肢静脈瘤」もむくみの原因となる疾患の一つです。脈管専門医・循環器専門医の柴村英典医師に聞きました。

足のむくみはどうして起こるの?

血液中の水分が必要以上に血管の外にしみ出し、皮下組織内に溜まる状態がむくみです。立ち仕事が続いたときなどに起こる一時的なものもありますが、心臓、腎臓、肝臓、甲状腺などの疾患の一症状として下肢のむくみが出現する場合があります。また、深部静脈血栓症や下肢静脈瘤のように静脈還流障害に起因する場合や、リンパ液の還流が悪くなるリンパ浮腫などがあります。

か し じょうみやくりゅう下肢静脈瘤とはどんな病気?

足の静脈は重力に逆らって血液を心臓に向かって上へ運ばなくてはならないため、血液の逆流を防ぐための弁(逆流防止弁)がついています。しかし、何らかの原因でこの弁が壊れてしまうと、血液が逆流して静脈内に滞りようになります。その結果、足の血管がポコポコと浮き出てコブのようになり、むくみ、疲れ、皮膚の変色といった症状が現れます。最初のうちは見た目が気になるだけですが、徐々に症状が進行します。



下肢静脈瘤はどんな治療をするの?

以前は表在静脈を抜去する手術が主流でしたが、現在はレーザーやラジオ波(高周波)を用いて血管の中から静脈を焼灼し閉塞させる治療が増えています。傷も小さく、痛みもほぼなく、日帰りで受けられるので体への負担も少なく済みます。

むくみは自然に治ってしまうものから命にかかわる重篤な疾患まで様々な原因が考えられます。治療法を決める際には十分に検査し、最善の方法を選択する必要があります。「むくむのはいつもこと」と軽視せず、信頼できる専門機関で診察を受けることをおすすめします。

今月のアドバイザー

海田よつ葉クリニック **柴村英典院長**

広島県安芸郡海田町栄町5-32(ウオントツ海田栄町店隣り)
TEL 082-562-2100

日本外科学会/外科専門医・日本循環器病学会/循環器専門医。広島大学病院、土谷総合病院、広島市立安佐市民病院、マツダ病院等にて数多くの心臓血管疾患の診断、治療、手術を経験。特に下肢静脈瘤手術は血管内焼灼術実施医・指導医として、多くの手術を執刀。2019年現クリニックを開院。これまでの経験を活かし、地域のかかりつけ医として診療にあたりると同時に、痛みの少ない下肢静脈瘤日帰り手術を行っている。

